

AI と SNS を活用した情報収集体制の構築について

1 趣旨・目的

事故や事件、災害等の危機事案発生時に、現地の状況を迅速かつ正確に把握し、的確な判断・対応が可能な体制を整えるため、情報収集手段として有用性が高まっているAIとSNSを活用した情報収集体制を構築する。

2 導入するシステムの特徴

- ①Twitter, Instagram, Facebook, Youtube, TikTokなどのSNS等上にユーザーが投稿・発信した動画、画像、メッセージ等の情報から、国内外で発生している事故や事件、災害等の情報（以下「災害情報等」という。）を収集する。
- ②収集した災害情報等は、AIによる自動判別と24時間体制の専門チームの情報分析により誤情報等を除去し有用な情報のみが抽出される。
- ③発生場所や時期、災害等の類型などの別に必要な情報を抽出することが可能。
（例えば、「明石市内」で「過去1か月」に発生した「火災情報」のみを抽出することが可能。）
- ④事案発生時には、自動配信メールにより事案発生を即時知らせてくれる。

3 導入によるメリット

- ・自動配信メールにより、市内で発生した事件・事故・災害等にいち早く気づくことができる。
- ・即時に画像や動画で確認することができるため、どのような事件・事故がどのような規模で発生しているのかを迅速かつ正確に把握し、発生当初から適切な対応を行うことができる。
- ・大規模災害が発生した際には、市内のどこで何が起きているか、大量の情報を瞬時に収集し、分析することができる。
- ・明石だけでなく全国の情報が入手できるため、例えば、他市で大規模災害が発生した場合に、画像や動画で現地の状況を確認し、災害派遣の必要性や支援の内容などを判断することができる。



4 予算

330千円（使用料）